

協議事項及び報告事項の御意見について

協議(1) 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金（玖珂地域生活バス・過疎地域乗合バス）に係る事業評価について

意見1：

過疎バスについて、大藤線が記載外なのがよくわからない。
路線図をみると、六呂師口と大藤間を最短距離で結ぶのが大藤線ではないのか。

回答1：

過疎地域乗合バスについては、現在4つの路線（叶木・二鹿・持ヶ峠・大藤線）が存在しますが、そのうち、令和5年10月から運行を開始した大藤線については、当国庫補助金の対象外となっていることから、当事業評価の資料には記載していません。

協議(2) 岩国市生活交通バス美川地域線「けんこう号」の運行経路再編等について

意見なし

報告(1) 乗合タクシー「よべるん」の乗合乗車率アップに向けた運賃割引の実施（実証実験）

意見1：

75歳以上の方はタクシー券が使えなくなるので利用者は減少すると思われる。
一方、75歳未満の人にとっては良いことだが、この年代で運転免許を持っていない人がどれだけいるか？やってみないとわかりませんね。

意見2：

財政負担増となることから反対。継続するべきではない。
いわくにバスのオンデマンドバスについては「周知不足」と批判を受けているが、乗合タクシーも周知不足ではないのか、それならば値引きではなく、広報に予算を費やすべきと思う。
値引きをする場合ならば、アンケート結果において価格に不満があるエビデンス（設問）を資料として出したほうが良いと思う。
また、価格以外に乗合を嫌う理由があるならばAIのルーティングに問題があり、それはサービス提供会社とのコミュニケーションで改善を進めることが出来るのではないか。

意見 3 :

試行錯誤、工夫をすることは大変良いことだと思います。

意見 4 :

運行の 75%が一人での利用というのは、少し問題があるように思われます。特定の地域だけ、タクシー料金の補助を岩国市が行う、との誤解を受ける可能性があります。二人以上での割引制度や、その他いろいろな施策を検討し、複数での利用促進をし、乗合タクシーとしての機能回復を期待します。

回答 1 :

多くの御意見をいただき、ありがとうございます。

令和 4 年 10 月から運行を開始した乗合タクシー「よべるん」については、これまでに運賃や乗合での乗車に関して、利用者から大きな不満はないと認識しています。

この度、実証実験で実施いたします乗合割引については、効率的な運行を目指すために実施するもので、今まで「よべるん」を御利用いただいたことがない方にも御乗車いただくことで、乗合乗車率増、ひいては利用者増につなげてまいりたいと考えています。

また、御意見の中で、「75 歳以上の人はタクシー券が使えなくなるので利用者は減少するのでは」や「財政負担増になる」とありますが、これらにつきましては、この度の実証実験の運行実績やアンケートなどから検証してまいります。

「よべるん」の周知につきましては、運行開始当初から、広報紙への掲載をはじめ、地域住民へのチラシ配布、ホームページ掲載などを実施してきたところです。

これからも、多くの方に御利用いただけるよう、様々な媒体を活用して周知に努めてまいります。